

おすすめICT活用事例のご紹介

区分		学年	教科等	単元等	活用ソフト	
中		1	理科	生物の特徴と分類の仕方「身近な生物の分類」	プレゼンテーションソフト	
授業内容	身近な生物がどのような観点で分類できるか考えよう				活用ツール	ドラッグ操作、テキスト入力
	準備： ・ワークシート用ファイルを準備する。 ・ワークシート用ファイルのスライドをクラスの数分コピーして共同編集できる場所に保存する。				ワークシート	
	授業の流れ： 1. 先生から配付されたワークシートの自分の出席番号のスライドを開く。 2. スライド上の生物のイラストを見て、各自で分類の観点を決め、2つ以上のグループに分類する。 3. 入力結果をクラス全体で共有する。 4. 分類している時に迷ったことや、他の子供の分類を見て疑問に思ったことを発表する。 （例：「チョウは飛ぶ、に分類されているけど、幼虫のときは飛ばないですね」等） 5. 分類することで様々な生物の違いや共通点を見出すことができること、同じような着眼点であっても観点や分類の項目の設定によって分類が変わってくることについて先生が説明をする。				分類の例	
					イラスト出典：いらすとや https://www.irasutoya.com/	
ICT利活用のポイント		クラス全員分の多種多様な観点や分類を共有できます。 校庭で見つけた生物の写真を使って分類することもできます。				
おすすめポイント		「食べられるかどうか」「家で育てたり飼ったりできるかどうか」等、まずは自由な発想で取り組み、中学校に入学して間もない子供たちに観点を決め、分類する楽しさを体験してもらいます。分類し始めてから観点を見直す必要に気づいたり、同じ観点でも人によって分類に違いが出たり等、様々な学びが期待できます。活動を通し、楽しみながら科学的な考え方に気づいていきます。				

～分類の例～

分類の観点「 移動の方法 」

出席番号:

泳ぐ

歩く

飛ぶ

移動できない



おたまじゃくし



ニシキゴイ



カエル



ネコ



白鳥



ザリガニ



ミミズ



ミツバチ



カタツムリ



モンシロチョウ



カメ



アサガオ



オオイヌノフグリ



つくし



スギ



イチョウ



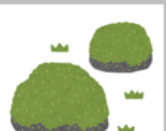
しいたけ



タンポポ



海藻



コケ